

認定調査 “ワンポイント・アドバイス”

（回覧）調査員の皆さんで共有しましょう！

確認印欄

★★「3-4 短期記憶（能力）」について★★

「短期記憶」（面接の直前に何をしていたか思い出す）能力を評価する項目です。
面接調査直前または当日行ったことについて具体的に答えることができれば
「できる」を選択します。

上記の質問で確認が難しい場合は、三品法（三つ品物を提示し、確認した後見えないところにしまい、5分以上経過してから2品提示して残りの1品を答えてもらう）を実施します。

調査当日の状況と日頃の状況が異なる場合は、概ね過去1週間の状況において、より頻回な状況に基づき選択を行います。

<調査の状況>

三品法を実施し、正確に回答できた。しかし家族によると、日頃は直前の出来事をすぐに忘れてしまうとのこと。

～よりわかりやすい特記事項のために～

- ・はじめから三品法を実施するのではなく、まず本人に「直前に何をしていたか」2択でない方法で質問する。
 - 何をしていましたか ×ベッドに横になっていましたか（具体的な提示は×）
- ・当日の状況と家族による聞き取りの状況が異なる場合は、判断に迷うことがある。
調査員が判断、選択した根拠を特記に記載する。

特記事項の例

調査前に食べた昼食のメニューを正確に答えることができ、三品法にも回答できた。
しかし日頃は物忘れがひどく、直前のことをすぐに忘れてしまうと妻より聴取。より頻回な状況に基づき選択した。

【介護認定の状況】（R3.4.5時点）

2月申請 333件のうち審査会の予定が決まっていない数 3件

3月申請 330件のうち審査会の予定が決まっていない数 88件

桐生市役所 健康長寿課 介護審査係 （内線 394・395）